

第104回全国高等学校野球選手権宮城大会

□大会第8日目 7月19日(火)

3回戦	石巻市民球場	1時間 30分			打安点盗犠四三残失併
仙台高専名取	0 0 0 0 0			0	【名】 16 1 0 0 0 2 7 3 2 0
仙台育英	7 4 0 1 X			12	【育】 22 8 8 6 0 10 1 8 0 0
(球)	野田 学 (一) 菅原 久 (二) 武田 徹 (三) 三浦 徹		(5回コールド)		▽本塁打 なし
【名】	村木, 小野崎, 佐藤大		— 鈴木		▽三塁打 尾形(育)
【育】	湯田, 佐藤		— 尾形, 永田		▽二塁打 鈴木(名) 湯田(育)
▽暴投	村木1, 小野崎2(高)		▽捕逸 なし		

【評】
 仙台育英は1回裏エラーと四死球でノーアウト満塁とし、5番尾形の三塁打と6番遠藤の連打、また、相手のエラーに乗じて7点を先制し、試合を優位に進めた。その後も四死球で出たランナーを効率よく得点につなげていた。高専名取は、継投した2投手が最小失点に抑えてはいたが、先発の村木がエラーと四死球で崩れ、2回までに11失点したのが響いた。仙台育英は、先発の湯田と継投した主将の佐藤悠斗が被安打1で0点に抑え、第1シードらしい戦いで、5回コールドで勝利し、準々決勝へ進出した。記録：早坂憲人

3回戦	石巻市民球場	1時間 48分			打安点盗犠四三残失併
古川	0 0 0 0 0 0			0	【古】 23 3 0 0 0 0 3 4 0
日本ウェルネス	0 1 2 1 3 0			X	【日】 31 11 5 3 1 4 3 11 1 0
(球)	山館浩樹 (一) 高橋弥寿仁 (二) 佐藤亮樹 (三) 邊見豪志		(7回コールド)		▽本塁打 なし
【古】	佐藤, 三嶋, 上村		— 上村, 吉岡		▽三塁打 上村(古), 鈴木(ウ)
【日】	菅井, 三浦		— 笹村, 高橋		▽二塁打 なし(古) 早坂, 西内(日)
▽暴投	三嶋1(古)		▽捕逸 なし		

【評】
 第5シードの日本ウェルネス宮城が7回コールドで勝利しベスト8に進出した。2回、9番の鈴木の一塁打で先制し、序盤からリズムを掴むと、長短合わせて11安打を放った。先発投手の菅井が勢いのある直球と大小の変化球を織り交ぜ、6回を被安打3、3奪三振に抑えた。古川は3投手が粘り強く継投したが、4失策が悔やまれる。攻撃でも初回の好機を生かすことができず、4回以降、出塁できなかった。記録：佐沼高校 松井

3回戦	石巻市民球場	2時間 6分			打安点盗犠四三残失併
聖和学園	0 0 0 3 0 0 0 0 0			3	【聖】 30 8 3 0 6 8 1 14 1 1
仙台	0 0 1 0 0 0 0 0 1			2	【仙】 29 7 2 2 4 3 4 7 1 0
(球)	浅野卓也 (一) 嶋田代志昭 (二) 佐々木瞭太 (三) 毛利 晃				▽本塁打 なし
【聖】	加藤, 阿部航(だい)		— 山田		▽三塁打 なし
【仙】	齋藤		— 岩佐・大場		▽二塁打 三浦, 山田(聖) 千枝(仙)
▽暴投	なし		▽捕逸 なし		

【評】
 聖和学園対仙台的試合は、雨天の中、息詰まる投手戦を聖和学園が制した。聖和学園の先発は左腕・加藤佑。7回裏1死まで仙台打線を散發5安打1失点に抑える好投を見せた。打線も4回の好機を逃さず、適時打で着実に得点を重ねた。
 仙台の先発・齋藤は苦しみながらも要所を抑え最後まで投げきった。ただ、先制点を奪った後、先頭打者の四球から連続適時打で3失点したので、唯一失点したこの回の投球だけが本当に悔やまれる。攻撃面ではスクイズで先制し、9回2死から7番・千枝の二塁打、8番・小宮の適時打で1点差まで迫る意地を見せてくれた。記録：渡邊吉浩(石巻北)

		時間	分		打安点盗犠四三残失併
(球)	(一)	(二)	(三)		▽本塁打
					▽三塁打
▽暴投			▽捕逸		▽二塁打

【評】
 東北生活文化大学高等学校の出場辞退により、東北高等学校が不戦勝となった。